

## 介護人材実態調査（調査票案）

挨拶文等

事業所の概要についておたずねします。

**問1** 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている施設等）で行うサービスについて、ご回答ください。

（○は1つ）

1 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

**問2** 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

**問2-1** 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	_____人	非正規職員	_____人
------	--------	-------	--------

**問2-2** 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 _____年 _____月
------	------------------

**問2-3** 令和7年4月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。

過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

採用者数	_____人	離職者数	_____人
------	--------	------	--------

**問2-4** **問2-3**の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。

(数値を記入)

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	_____人	_____人	_____人	_____人
20～29歳	_____人	_____人	_____人	_____人
30～39歳	_____人	_____人	_____人	_____人
40～49歳	_____人	_____人	_____人	_____人
50～59歳	_____人	_____人	_____人	_____人
60～69歳	_____人	_____人	_____人	_____人
70～79歳	_____人	_____人	_____人	_____人
年齢不明	_____人	_____人	_____人	_____人

**問3** 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※ 番号1つ記載				※ 数値を記入		※ 番号1つ記載			
	(1)資格の取得、研修の修了の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について		
選択肢	1.介護福祉士 (認定介護福祉士含む) 2.介護職員実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または(旧)ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修修了 または (旧)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	1.正規職員 (※期限の定めのない契約) 2.非正規職員 (※期限のある契約)	1.男性 2.女性	1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。	1. 1年以上 ⇒【回答終了】  2. 1年未満 ⇒【(7)へ】	1.現在の職場が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2.介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回サービス 6.通所介護、通所リハ、認知症デイ 7.住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8.その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】	1.現在の施設等と、同一の市区町村内 2.現在の施設等と、別の市区町村内	1.現在の施設等と、同一の法人・グループ 2.現在の施設等と、別の法人・グループ	
記入例	1	1	1	3	40	時間	2	2	1	2
01						時間				
02						時間				
03						時間				
04						時間				
05						時間				
06						時間				
07						時間				
08						時間				
09						時間				
10						時間				
11						時間				
12						時間				
13						時間				
14						時間				
15						時間				
16						時間				
17						時間				
18						時間				
19						時間				
20						時間				
21						時間				
22						時間				
23						時間				
24						時間				
25						時間				
26						時間				
27						時間				
28						時間				
29						時間				
30						時間				
31						時間				
32						時間				
33						時間				
34						時間				
35						時間				
36						時間				
37						時間				
38						時間				
39						時間				
40						時間				
41						時間				
42						時間				
43						時間				
44						時間				
45						時間				
46						時間				
47						時間				
48						時間				
49						時間				
50						時間				

**問4** 各職種は充足していると思いますか。(それぞれあてはまるものに○は1つ)

職 種	1 充足している	2 やや不足している	3 大幅に不足している	4 事業所には必要ない
① 事務管理者	1	2	3	4
② 介護支援専門員	1	2	3	4
③ 介護福祉士	1	2	3	4
④ 実務者研修修了者	1	2	3	4
⑤ 介護職員初任者研修修了者 (旧ヘルパー2級)	1	2	3	4
⑥ 無資格の介護職員	1	2	3	4
⑦ 精神保健福祉士	1	2	3	4
⑧ 社会福祉士	1	2	3	4
⑨ 医師	1	2	3	4
⑩ 保健師・看護師	1	2	3	4
⑪ 管理栄養士・栄養士	1	2	3	4
⑫ 薬剤師	1	2	3	4
⑬ 理学療法士	1	2	3	4
⑭ 作業療法士	1	2	3	4
⑮ 言語聴覚士	1	2	3	4
⑯ 歯科衛生士	1	2	3	4
⑰ あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・柔 道整復師	1	2	3	4
⑱ 認知症介護基礎研修受講者	1	2	3	4

**問5** 人材確保で問題になることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1 募集しても応募がない	2 良質な人材が集まらない
3 応募があっても、待遇等の条件があわない	4 募集に費用がかかる
5 派遣に頼らざるをえなくなる	6 採用しても定着しない
7 その他 ( )	

**問6** 人材を確保するためにどのような取り組みを行っていますか。(○はいくつでも)

1 新規採用枠の拡大	2 中途採用枠の拡大	3 就業時間の見直し
4 福利厚生充実	5 処遇の改善	6 研修会への参加支援
7 資格取得の支援	8 苦情・相談の充実	
9 同一法人内での事業所間の人事交流・配置転換	10 人材派遣の活用	
11 求人広告掲載	12 その他 ( )	



**利用者の状況についておたずねします。**

**問 11** サービス利用を申込み、待機している方はいますか。(1つに○及び人数を記入)

1 いる(市内 人、市外 人) 2 いない ⇒ **問12**へ

**問 11**で「1 いる」に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 11 (1)** 待機者がいる場合、申込みからサービス利用までの平均的な待機期間はどの程度ですか。  
(数値を記入)

平均( 月)

**問 12** 過去1年間(令和6年4月～令和7年3月)にサービスを終了された方はどのような理由からですか。  
(あてはまる選択肢すべてに○をし、人数をお答えください)

(1) 死亡による

① 居宅・入所(居)先施設で( 人)

② 入院先の医療機関で( 人)

(2) 契約解除による退去

① 病気治療のため医療施設等に入院するため( 人)

② 利用者の心身の状態から他の介護施設・住宅に移住するため( 人)

③ 利用料の支払いが難しくなるなど、経済的事情から( 人)

④ サービス内容に関する不満やトラブルがあったため( 人)

⑤ 家族・親族との同居・近居のため( 人)

⑥ その他( ) ( 人)

**問 13** 災害時において貴事業所が行える協力があるとしたら、どのようなことができますか。

(○はいくつでも)

1 施設の開放

2 車両の貸し出し

3 人的援助

4 他市の事業所から食事の提供

5 サービス利用者の安否確認

6 その他( )

**問 14** 医療的ケアについて

貴事業所では、常時次のような医療的ケアが必要な方に対し、介護サービス（医療行為は含まない）の提供をすることは可能ですか。（可能な選択肢すべてに○をし、現在の利用者の人数を記入）

1 点滴の管理	(	人)	2 ストーマの処置	(	人)
3 気管切開	(	人)	4 中心静脈栄養	(	人)
5 痰の吸引	(	人)	6 在宅酸素療法	(	人)
7 疼痛の管理	(	人)	8 人工透析	(	人)
9 レスピレーター	(	人)	10 経管栄養	(	人)
11 じょくそう	(	人)	12 留置カテーテル	(	人)
13 インスリン	(	人)			
14 その他	(		)	(	人)
15 いずれの医療的ケアが必要な方に対しても、介護サービスを提供できない	⇒ <b>問15</b> 人				

**問 14**で「15」以外に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 14 (1)** 可能な医療的ケアはどのような職種の方が提供していますか。（○はいくつでも）

1 看護職が提供している
2 法的に要件が緩和された範囲で、介護職により提供している
3 その他 ( )

**問 15** 「看取り」への取り組みについて

延命治療を希望せず、現在お住まいの所（居宅・施設）での看取りを希望する利用者について、貴事業所では、どのように対応されていますか。（○は1つ）

1 看取りの希望の有無を利用者から事前に確認し、看取りを希望する場合は、サービス提供を辞退している
2 看取り時の対応について、利用者と事前に文書を締結し、看取りを行っている ⇒ <b>問16</b> 人
3 看取り時の対応について、特に明文化していないものの、看取りを行っている ⇒ <b>問16</b> 人
4 看取りについて、意識したことはない ⇒ <b>問16</b> 人
5 その他 ( )

**問 15**で「1」に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 15 (1)** 看取りのサービス提供を辞退する理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 看取りに関する職員向けの研修をすることが難しいため
- 2 看取りを希望する高齢者へのサービス提供はリスクが高いため
- 3 介護事業所は、看取りに対応する必要はないと考えているため
- 4 採算上難しいため
- 5 往診を行う医師（病院・診療所）との連携が難しいため
- 6 訪問看護事業所との連携が難しいため
- 7 利用者側のニーズが見込めないため
- 8 看取りに関する法的課題等の整理が難しいため
- 9 看取りを本当に希望しているかどうかの意思確認が困難であるため
- 10 家族との調整が困難であるため
- 11 知識・経験が不足している
- 12 その他（ )

**問 15 (2)** 利用者が、自分の最期をどこでどのように迎えたいか、意思を確認していますか。(○は1つ)

- 1 意思を確認していない ⇒ **問16**へ
- 2 意思を確認している

**問 15 (2)**で「2 意思を確認している」に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 15 (3)** 意思確認の方法はどのようにしていますか。(○は1つ)

- 1 ケースカンファレンス等で本人・家族の意向を確認し記録に残す
- 2 「終末期医療に関するガイドライン」に基づく診療方針等を文書で確認している
- 3 本人・家族の意向を確認し、契約書等に記載している
- 4 その他（ )

**問 16** 認知症の高齢者等に対し、認知症であることを理由にサービス提供を辞退したり、中断したりすることはありますか。(○は1つ)

- 1 辞退することがある
- 2 中断することがある
- 3 辞退したり、中断したりすることはない

**問 17** 認知症の利用者にサービス提供する際、困難なことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 今の介護報酬では、手のかかる認知症患者へのサービス提供は、採算が合わない
- 2 職員に認知症に関する知識を習得させるための研修を実施することが難しい
- 3 認知症に起因する問題行動等が原因で、サービス提供に支障が出る
- 4 徘徊しないよう配慮しつつ、必要なサービスを提供することが難しい
- 5 個々の利用者の認知状況に即したサービス提供をすることが難しい
- 6 手のかかる認知症患者への対応に十分な職員数を配置できない
- 7 本人の意思確認ができず、契約ができない
- 8 その他（ )





以降の設問は、提供されているサービス内容により回答いただく事業所を限定していません。貴事業所の提供サービスが該当する区分について回答願います。(併設している事業所についても、ご回答ください)

【1】訪問介護事業所は、問 24～問 27

【2】認知症対応型通所介護、通所リハビリテーション事業所は、問 28～問 29

【3】(地域密着型)通所介護事業所は、問 28～問 30

\*その他の事業所は問 31 へ

【1】訪問介護事業所におたずねします。

\*その他の事業所は回答不要です。

**問 24** 介護予防・日常生活支援総合事業について、貴事業所では、経済的に余裕のない利用者に対し、安価で無資格者が行うサービスを勧めたいと思いますか。(○は1つ)

1 勧めたいと思う ⇒ **問26**へ

2 勧めたいと思わない

**問 24** で「2 勧めたいと思わない」に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 24 (1)** 勧めたいと思わない理由は何ですか。(○は3つまで)

- 1 他の利用者とサービス内容を区別することが難しいため
- 2 手続きが煩雑なため
- 3 制度を良く知らないため
- 4 報酬単価が安く専門職の人材を配置しているので、事業所の経営が成り立たないため
- 5 無資格者を確保するのが困難であるため
- 6 有資格者への配慮のため
- 7 社内での研修など無資格者を育成することが困難であるため
- 8 その他 ( )

**問 25** 訪問介護(ホームヘルプサービス)に従事する職員数についてお答えください。

(令和7年4月末時点)(人数を記入)

① 正規職員 ( ) 人

② 非正規職員 ( ) 人

**問 26** 独居高齢者の安否確認を受けたことはありますか。(○は1つ及び回数を記入)

1 ある(最近1年間で ) 回程度

2 ない ⇒ **問28**へ

**問 27** 利用者のうち、ヤングケアラーと思われる介護者は把握していますか。およその件数を教えてください。(○は1つ及び件数を記入)

1 把握している ( ) 件

2 把握していない



すべての方におたずねします。

**問 31** 市が実施する人材育成研修等事業でのスキルアップ事業の満足度はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1 満足している
- 2 おおむね満足している
- 3 あまり満足していない
- 4 満足していない
- 5 わからない、受けていない
- 6 その他 ( )

**問 32** 貴事業所では、日野市在宅療養支援センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

- 1 知っていて利用した
- 2 知っているが利用したことがない ⇒ **問32 (2)**
- 3 知らなかった ⇒ **問32 (2)**

**問 32**で「1 知っていて利用した」に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 32 (1)** 利用して、どのような結果になりましたか。(○は1つ)

- 1 問題解決に役立った
- 2 問題解決までは至らなかったが、ある程度の方向性を確認することができた
- 3 問題解決に至らなかった
- 4 その他 ( )

**問 32**で「2 知っているが利用したことがない」「3 知らなかった」に○をつけた事業所におうかがいします。

**問 32 (2)** その理由はなんですか。(○は1つ)

- 1 知らなかった
- 2 たまたま相談するような機会がなかった
- 3 利用したいとは思わないため(理由: )
- 4 その他 ( )

## 自由意見

**問 33** 何かご意見がありましたら記入してください。


■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■